

北陸先端科学技術大学院大学研究室教育指針
Laboratory Education Guideline

研究室教育指針は、学則第30条の3に基づき、研究指導の方法及び内容並びに修了までの研究指導の計画をあらかじめ明示するものです。

Based on the Article 30-3 of the general academic rules, the Laboratory Education Guideline is intended to clearly outline the methods and content of research guidance, as well as the plan for research guidance until completion.

氏名 / name : 上田 純平 役職 / official position : 准教授

1. 研究テーマ / Research Theme
無機固体材料の合成と分光学的物性評価および光機能応用 無機蛍光体や蓄光材料、透光性セラミックスなどを対象とし、材料合成（無機固体粉末、セラミックス、ガラス、単結晶）、分光学的物性評価（X線回折、蛍光寿命測定、真空紫外分光、高圧実験等）、およびその応用展開までを一貫して研究します。
2. 修得が期待される能力 / Competencies expected to be acquired 研究室教育は必修A科目（先端）又は研究支援科目（融合）の一部として単位化されており、この欄はそれら科目のシラバス上の達成目標の一部となります。 Laboratory Education is accredited as a part of the Required courses A (Division of Advanced Science and Technology) or Research Support Courses (Division of Transdisciplinary Sciences), and this section constitutes a part of the course goals stated in the syllabus for such subjects. 本研究室の教育を通じて、以下の能力を修得することを目指します。 知識・技能： 固体化学および分光学の専門知識に基づき、高度な材料合成技術や精密な物性測定技術（構造解析、光学特性、温度特性実験、高圧実験等）を自ら実践・完遂できる能力。 思考力・計画性： 研究課題を自ら設定または把握し、論理的思考に基づいて「合成・評価・応用」の研究サイクルを計画的に推進する能力。 コミュニケーション： 雑誌会や報告会を通じた英語論文の読解力、および国際的な学術雑誌や学会において、自身の研究成果を論理的・説得的に発信するプレゼンテーション能力。
3. 研究指導方針 / Research Guiding Principle
当研究室では、材料の「創製」から「評価」、そして「社会実装（応用）」に至る一連のプロセスを自ら経験することで、高い専門性と広い視野を兼ね備えた研究者の育成を目指します。週に一度の報告会と雑誌会を軸に、対話を通じて課題解決能力を養います。また、在籍中に国内・国際学会での発表を経験し、最終的には学生自身が筆頭著者として国際論文を執筆・発表できるよう、手厚く支援します。
4. 研究室活動の内容及び方法 / Content and Methods of Laboratory Activities
<input type="checkbox"/> 日次活動 / Daily Activities : コアタイム (9:00~17:00) 。規則正しい生活を基盤とし、研究時間を確保します。 <input type="checkbox"/> 週次活動 / Weekly Activities : 研究報告会 (週1回) 、雑誌会 (最新英語論文の紹介、週1回) 。 <input type="checkbox"/> 月次活動 / Monthly Activities : 個別ミーティング (進捗に応じ随時実施) 。 <input type="checkbox"/> 不定期活動 / Occasional Activities : 研究発表会、産学連携研究打ち合わせ、国内外の学会発表、学外共同研究機関での実験。
5. 年間スケジュール / Annual Schedule 本学の全学共通の年間スケジュールは「履修案内」の「学位取得に至るスケジュール」を参照してください。(本学HP参照: ホーム>教育>履修関係>履修案内) Please refer to the "Degree conferment schedule for the master's program/doctoral program" in the "Degree Completion Guide" for university-wide common schedule (JAIST website: Home

>Education>Taking Courses>Degree Completion Guide)

4月に研究室独自の「新入生研修」を実施し、実験装置の安全な使用方法や基礎的な合成・評価手順の教育を行います。12月には「研究室中間報告会」を開催し、秋季までの研究成果の整理と年度末に向けた課題の明確化を行います。M1は年度内の国内学会発表を、M2・D生は国際学会での発表および国際論文の執筆・投稿を目標とします。修了までに一度は外部での学術発表を行うことで、専門家との議論を通じた客観的な視点を養い、学位論文の完成度を高めていきます。